

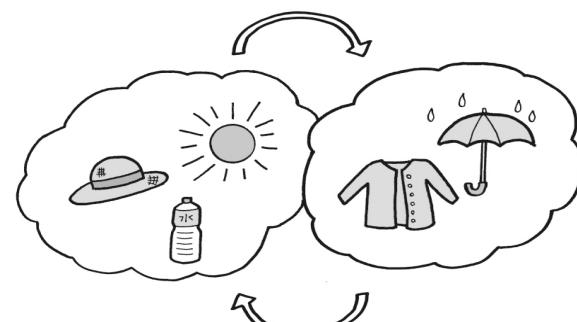


令和元年6月 清風学園

## 梅雨の体調管理は「温度」と「湿度」にも注目！

6月に入って、衣替えが済んだこともあります。半そで姿を多く見かけるようになりました。これから夏にかけて気温がどんどん上がっていくことに加え、梅雨どきで湿度も高く、むし暑く感じる日が増えています。しかし、その一方で『梅雨寒』という言葉があるように、くもりや雨の日などに気温が思ったより下がることもあります。その日・そのときの気候に合わせ、例えば半そでの上から長そでのシャツを着るなど、体調をくずさないための工夫を心がけましょう。

また、梅雨の晴れ間などに気温や湿度が急に上がったときは、熱中症がとくに起こりやすくなります。こまめに水分をとる、日差しが出たら帽子をかぶるなどの対策をくれぐれもお忘れなく。もちろん、十分な睡眠や栄養バランスのとれた食事は、体の調子を保つためにこの時期にも欠かせませんよ！



こんなことに気をつけて。

- 下ばかり向いてない？ かさは前が見えるように持ちましょう
- 道路を渡るときはかさを上げて周りをよく見てから渡りましょう
- 水たまりやすれ違う人をよけるときは、あわてずに車や自転車が来ていなか確認しましょう
- かさや服は明るい色や蛍光色、パステルカラーで目立つものにしましょう
- いつもより余裕をもって出かけましょう

「雨の日は気をつけて！」



## どこから来る？ 食中毒の原因菌

腸管出血性大腸菌（O157など）、カンピロバクターなどは動物の腸の中にいます。多くは、生肉や加熱不十分な肉を食べて発症します。

サルモネラ属菌も動物の肉や卵などから感染します。ペットから食べ物に菌が付着する場合も。

セレウス菌は河川や土など広く分布しています。土がつきやすい穀類や豆類などを

使った料理（チャーハンやパスタなど）が原因になります。

ウェルシュ菌は酸素のないところで増殖します。カレーや煮物などを室温で放置すると危険です。

ノロウイルスは二枚貝などに潜んでいて、加熱が不十分なまま食べると感染します。感染者の嘔吐物などから二次感染する危険もあります。

きちんとみがけてる？

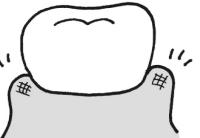
## 歯と口の健康週間

6月4日～10日



### ☆歯肉炎ってどんな病気？

歯肉（歯ぐき）に炎症が起きて赤く腫れたり、出血したりする病気です。激しい痛みなどはありませんが、そのまま治さずにはうっておくと、もっと重い『歯周炎』になってしまいます。また、歯と口だけでなく、さまざまな全身の病気にもつながるとされています。



### ☆どうすれば予防できる？

歯肉炎の原因は、歯にベタベタとくっつく歯垢（plaques）です。この中にはたくさんの細菌がいて、それらが有害な物質を出すことで歯肉炎が起ります。つまり、歯肉炎を予防するためには、歯みがきで歯垢をすみすみまできれいに落とすことが大切なのです。



### ☆自分で治すことができる！

軽い歯肉炎の場合、正しい方法で歯みがきを続けることで、自分で治すことができます。歯肉炎になった歯肉は赤くてブヨブヨ、健康な歯肉はピンク色で引きしまっています。鏡で自分の口の中を見るとわかるので、普段からまめにチェックする習慣をつけるといいですね。



## 歯周病がからだ全体に影響するってホント？



ホントです。歯周病を放っておくと歯周病菌や歯周病菌が産みだす毒素などがどんどん増えていきます。

### それが血管から入り込むと

心臓病・脳卒中…血管が傷ついたり狭まったりするため、狭心症や心筋梗塞、脳卒中等の危険が高まります。

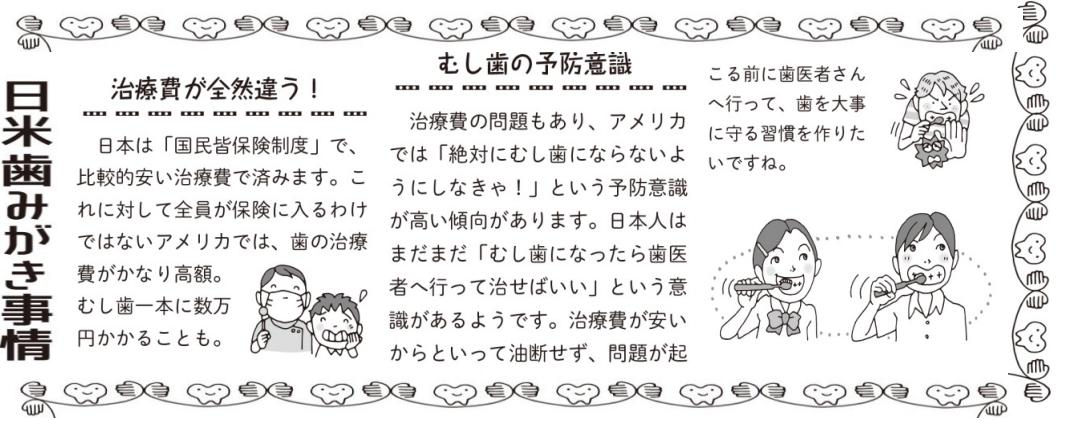
糖尿病…糖の代謝が妨げられて糖尿病が悪化します。

早産・低体重児…子宮の収縮が早まるとき産に、胎児の成長を妨げると低体重児出産のリスクが高まります。

### それが液から入り込むと

気管支炎・肺炎…液に混じって気道から入ると気管支炎や肺炎の原因になります。

健康を支える歯みがきはしっかりと



### むし歯の予防意識

#### 治療費が全然違う！

日本は「国民皆保険制度」で、比較的安い治療費で済みます。これに対して全員が保険に入るわけではないアメリカでは、歯の治療費がかなり高額。むし歯一本に数万円かかることも。

こる前に歯医者さんへ行って、歯を大事に守る習慣を作りたいですね。





